

第2回長期振興計画策定市民委員会（第2部会）

日	時	令和7年6月24日（火） 15時00分～16時42分	場	所	庁議室
議題・案件等		1．開会 2．議事 （1） 市民意見及び職員アンケートの内容について （2） 意見交換 3．その他			
会議資料		意見シート			
協議内容					
○協議経過 ■市民意見及び職員アンケートの内容について 事務局から資料①～③について、アンケート結果の概要を報告 ■意見交換 市民意見及び職員アンケートの結果、各自作成した意見シートにより市の課題等について意見交換を実施（詳細については別紙のとおり。）					

第2回長期振興計画策定市民委員会（第1・3・4部会）

日 時	令和7年6月24日（火） 18時00分～19時20分	場 所	第3委員会室
議題・案件等	1．開会 2．議事 （1） 市民意見及び職員アンケートの内容について （2） 意見交換 3．その他		
会議資料	意見シート		
協議内容			
○協議経過 ■市民意見及び職員アンケートの内容について 事務局から資料①～③について、アンケート結果の概要を報告 ■意見交換 市民意見及び職員アンケートの結果、各自作成した意見シートにより市の課題等について意見交換を実施（詳細については別紙のとおり。）			

第2回長期振興計画策定市民委員会意見交換概要

【健康・医療・福祉部会】

- 人材不足によりタクシー会社の介護タクシー（寝台車）がなくなってしまった。民間の介護事業者で1事業者介護タクシーによる移送を行っているが、予約も多く利用できない場合もある。中種子町や南種子町に転院の場合は南種子町のタクシー会社に依頼するが、早い時間帯は利用が難しいことや金額も2万円近くかかってしまう。また、手術等で鹿児島に搬送する際には救急隊に依頼して対応してもらっている状況。
⇒ 市から社協や民間事業者に移送サービスを委託することはできないのか。
- 介護度の高い方が増え、受入先の確保が困難となってきている。（経管栄養や吸引が必要な方の受入先を探すのが困難）
⇒ 介護や福祉施設において医療行為を必要としている方を受け入れるための人的環境が整っていない。
⇒ 施設のスタッフも高齢であり、吸引などを学ばせようとする、辞めるという話が出てきてしまう。
⇒ 1度受け入れたことがあるが、スタッフが少ないと1人で24時間いつでも対応できる状態になっていないといけず、心身ともに疲弊した経験がある。そのようなこともあるので、断っていることが安全につながっていると考えている。
- 最近、施設入所者の色も変わってきている。家族との問題等複雑化している。
⇒ 利用料を払っているのだから、施設がしっかりと面倒を見ろといった家族が増えてきている。
⇒ 良い面、悪い面があるが、「個」が優先されるようになってきた。
- どの分野も人材が不足している。
⇒ 介護や医療、福祉に魅力を感じられない→いい人材が集まらない、育たないサイクルになっている。
⇒ 市民も減少している中で、人材を確保していくことは難しいのではないかと。
⇒ このままだと残された人材への負担が大きくなり、サービスの質の低下や虐待等が増える可能性も大きくなる。
⇒ 介護・福祉サービスが機能しなくなり、事業所がどんどん閉所に追い込まれていくことになり、適切なサービスが受けられない状況になってしまう。
- 中核となる医療センターが充実することで、他の施設の充実に繋がるのではないかと。
- 市も事業所頼りではなく、しっかりとサポートしてほしい（寝台タクシー、訴訟問題、許認可問題等）
- 旧榕城中跡地は図書館ではなく、介護と自宅の中間施設を作してほしい。大字地域で住めなくなると中間施設に住み、更に住めなくなると介護施設に入所というようなイメージ。
今後、介護福祉人材が増えることが期待できない中で、1人がケアできる利用者が増えるような環境づくりが必要ではないかと。また、介護の資格がなくても元気な高齢者や障がいのある方、子どもたち等が接することができるような施設が欲しい。

⇒ 食事の宅配を行っているが、配達するだけで相当の時間がかかる。大字地域に分散していると1人でみることができる人数も少なくなる。

● 孤食ほど寂しいものはない。子どもと一緒に弁当を食べるなどのサービスがあってもいいのでは。

● 市民としてできることは、健康寿命を延ばすこと。頼れる人を確保しておくこと。家族や近所等と信頼関係を築くこと。介護状態になったとき、どうしたいのかを前もって家族等と話し合いをしておくこと。

【教育・文化・スポーツ部会】【安心・安全・基盤整備部会】

- 体育館の老朽化を何とかできないか。トレーニングルームは人が多くて利用できないこともあると聞いている。もう少し広くできないのか。また、ボイラーが壊れて給湯器が使えない。エアコンの整備もしてほしい。
 - ⇒ 市民体育館は避難所にもなっているはず。エアコンを整備すれば避難所としても活用しやすくなるのでは。
 - 市民体育館は津波の心配もあり、そもそも今の場所で良いのかといった検討も必要。そのため、都度修繕して対応していくのか、建て直すのかといった議論が必要になってくる。
- 種子島（西之表市）の歴史は大きな資源だと思う。魅力ある歴史・文化があるのに市民は気づけていない。魅力を高めていかないといけないのでは。
- 文化財でお金を稼げるようにできないか。産業とうまくつなげることができれば、文化財を守ろうという機運も高まり、相乗効果が期待できるのではないか。
- 体験をする場所が少なくなっている印象がある。自然はあるけれども体験できる場所が少ない。
 - ⇒ 子どもというよりは、親が体験していないことも影響しているのでは。
 - ⇒ 島間には体験できる場所がある。（中学校跡地）
 - ⇒ 子どもたちが体験できる場所をつくることで、子どもたちが様々な体験をし、健やかな成長に繋がると思う。
- あっぱ〜らんどふれあい館について、もう少し使い勝手を良くしてほしい。大会や合宿で来たとしてもあっぱ〜らんどを使わないと泊まることができないのは何とかできないのか。
- ダムの周りの遊歩道が通行禁止となっているため、整備してほしい。
- 様々な施設の整備の要望があると思うが、中種子町や南種子町にある施設との差別化を図って整備するべき。
 - ⇒ 中途半端に整備するのではなく、思い切って良いものを作ってほしい。
- 若い世代が1度外に出ていくのは仕方のないこと（1度は外に出た方がよい）。
 - ⇒ その後、島に帰ってこれる環境をいかに作れるかが重要だと思う。
- 再編交付金で道路の整備をしてほしい。国道や県道は整備がある程度されているが、市道については整備が行き届いていない。
 - ⇒ 通学路などで危険箇所マークというのがあるはずなので、そこから整備できればいいのでは。
- 前回の長期振興計画の策定時に再編交付金の話をしたが、再編交付金の活用を見込んだ計画となっていなかった。今後どのように整備していきたいのかが分からない。
- 馬毛島関係で潤っている部分もあるが、飲食店は増えていない。今までの店が繁盛しているだけで、外食するのも難しい状況になっている。

【欠席委員（意見シート）】

- 3.11震災対策訓練と称し、毎年市民総出で訓練を実施しているが、防災、減災に関する市民の意識がどの程度高まっているのか疑問である。
 - ⇒ 年に1回くらいは商店街や商業施設も巻き込んで、お客さんも従業員も少しでも訓練に参加するぐらいの意識が欲しい。
 - ⇒ 訓練を消防団も含めて消化行事にせず、毎年アップデートできる内容にできないか。例えば、各地域で障がい者・ペット・持出袋100%など特化した地域独自の取組を実施し、実施結果を共有し合うなど。各家庭の防災・減災チェックシートの利用
 - ⇒ 市民全体が防災・減災について訓練をもとに日頃から意識・知識・実践を高めれば、自然災害等の台風災害を始め、予測不可能な地震災害等にも自助・公助・共助が発揮でき、より日常から安心安全に暮らせるまちづくり可能になっていくのではないかな。
- 西之表消防署の立地問題も解決していない。
 - ⇒ 喫緊の課題は消防署移転ではないか。
 - ⇒ 消防署移転が実施できないうちに、津波被害が想定される地震等が起きたら本末転倒である。
- 少子化問題に加え、種子島離れで西之表市の将来像が見えない。
 - ⇒ 5年、10年後の宿泊施設・設備がほぼゼロ稼働にならないか心配
- 今現在西之表市に宿泊施設（ベッド数など）はどの程度あるのか。また、その活用が将来的に見込めるのか、見込めるような計画があるのか。
- 人口減少に伴う、市政運営への影響や若者流出による産業の継承問題、農業の担い手不足、地域の役員の不在等
 - ⇒ 働く場も少なく、若者は本土への進学等によりそのまま本土での就職となっている。結婚すればなおさら帰りづらくなっている。
 - ⇒ 行政としては、高校や専門学校、看護学校など特色ある教育現場をつくっていく。本土から若者を呼び込む。
 - ⇒ 市民としては、それぞれが働いている職場を魅力あるものに意識改革も含めて見つめなおす。
- 高校や専門学校など、地元を選択せずに本土を希望する若者が増えて若者の流出の低年齢化が進む。職場が魅力のない場所だと今後、継続は難しい。
- 西之表市が良くなるためには点での考えではなく、線でつながる取組と間をつなげるアイデアも必要だと思う。
- 種子島中央青果への野菜等の出荷が非常に減っている。規格外の野菜は畑にすき込み（ブロッコリー）をする農家が少なくない。
 - ⇒ JAの出荷基準が厳しい（ブロッコリー）。市場の買取金額が低い。（物産館に持って行く農家が多い）
 - ⇒ 行政としてすべきことは、規格外を買い取り、加工施設にて加工。また、大型冷蔵庫を作ることにより、加工品の貯蔵をすること。
 - ⇒ 加工施設を作ることにより、雇用が創出され、また、市場の経営安定も見込まれる。

- 高校（電気科・生物生産科）を生かし「芋発電」による自然エネルギーに特化した全国からの高校生の募集
- 高校生だけでなく、一般に向けたグリーンツーリズム（野菜のオーナー制、来て・見て・植えて、管理して収穫まで）
- 海岸にごみ等の漂流物が多い。景観が悪く、自然環境に悪影響である。
⇒ 法改正等により、その場で焼却ができない。
- 市の観光地整備が非常にすすんでおり、景観も綺麗になってきた。しかし、大型バスの観光には道路の幅などから周遊が難しいと感じる。
⇒ 今般の観光はFDAやクルーズ船、修学旅行などのバス観光も定着しつつあるが、ロケットセンターを中心とした南種子町がメインになっている。大型バスで全島周遊が可能であれば延泊の行程も可能になると考える。
⇒ 大型バスでの周遊ルートが確立されれば、休憩や昼食、宿泊、お土産の購入等、何かしらの観光での経済効果も期待できると思われる。